

川内村内視察

1 農業講演

いわなの郷体験交流館

川内村村長や農業関係者から、震災当時の状況や農産物への風評被害、住民の早期帰還に対する取組みなどの講演を聞きました。生徒たちは村の現状や復興へ向けた課題について理解を深めていました。



▲村長による講演



▲講演を聞く生徒たち

2 植物工場見学

川内高原農産物栽培工場

安全な地下水とLEDを活用した野菜工場を訪れ、最先端の水耕栽培について学びました。工場で育てられたレタスの試食も行われ、川内村から生まれる新しい農業の可能性を感じていました。



▲人工光による栽培方法を観察



▲最新技術で栽培されたレタスを味わう

3 水田見学

有機栽培農家

有機栽培による米作りを行っている水田で、収穫を控えた稲穂の生育状態を観察し、農家が取り組む合鴨農法について説明を受けました。生徒たちは農業再生へ向けた農家の思いに、熱心に耳を傾けていました。



▲黄金色の稲穂が広がる水田



▲米作りに掛ける信念を聞く



私たちが学んだ 川内村の今を発信!!

修学旅行を終えた生徒たちは、今回学んだことを発信するため、文化祭で学習成果をまとめたパネル展示と、川内村の農産物販売を行いました。

たくさんの方々に川内村の今を知っていただくことができました!



VOICE ふくしまへ メッセージ

長野県立更級農業高等学校 2学年修学旅行実行委員
委員長 荒井葵久恵 さん(右) 副委員長 酒井 芽美 さん(左)

事前学習で震災や川内村について学んできましたが、実際に現場を訪れて初めて分かったことがたくさんありました。被災地の状況を知らない人たちに、自分の目で見たこと、感じたこと、そして正しい情報を発信していきたいです。



学校紹介

長野県立更級農業高等学校
(長野県長野市)



農業に関する知識や専門技術を学ぶ学校です。同校では、授業で風評被害に立ち向かう川内村の農業について取り上げており、昨年の文化祭では村の野菜や特産品を販売し、義援金を募るなどの支援を行ってきました。今回、被災地の復興を肌で感じ、現地に暮らす人々から学びたいという思いから、修学旅行で川内村を訪れることとなりました。